

## 寅さん歩 その 35

### 東京の主要道路の起点～終点

#### 早稲田通り－1



平野 武宏

道路名の標識・経路案内標識や標識の数字・その形に興味を持った寅次郎、東京の主要道路を起点から終点まで道路標識を頼りに歩いて、各交差点で交差する道路を学びたいと思い、2021年10月から「不忍通り」、「白山通り」、「春日通り」、「明治通り」、「昭和通り」、「平成通り（番外編）」、「靖国通り（元 大正通り）」、「内堀通り」、「目白通り」、「目黒通り」、「本郷通り」、「世田谷通り」、「江戸通り」、「外堀通り」、「山手通り」、「環二通り」、「外苑東通り」、「外苑西通り」、「永代通り」、「中央通り」、「桜田通り」、「新大橋通り」、「清澄通り」、「日比谷通り」、「晴海通り」、「新宿通り」、「青山通り」、「玉川通り」、「尾久橋通り」、「尾竹橋通り」、「言問通り」、「墨堤通り」、「多摩堤通り」、「三ツ目通り」、「四ツ目通り」と歩いてきました。

今回は「早稲田通り」を歩きます。早稲田通りは千代田区九段北の靖国通りの田安門交差点を起点に、杉並区上井草の青海街道の井草八幡前交差点に至る延長約15kmの東西にのびる道です。写真右上は早稲田通りの道路名標識（都道25号線）です。掲載の写真は人や車の密を避けた時間帯に撮影しました（一部は以前の訪問時の写真もあります）。詳細を知りたい方は各道路のホームページをご覧ください。最寄駅は交通機関を利用した場合の代表駅です。

バーチャルウォークの途中経過も報告します。

**[田安門交差点]** 千代田区九段北二丁目

最寄駅 東京メトロ半蔵門線 九段下駅

田安門交差点（写真下左）は靖国通り（都道302号線）の九段坂にあり、左側は北の丸公園入口、右側は靖国神社第一鳥居（写真下右）です。左側の神保町方面から来て、右側の市ヶ谷駅方面に向かいます。早稲田通りは田安門交差点が起点で右折して飯田橋駅方面へ向かいます。



靖国神社の第一鳥居の前を通過すると二股（写真下左）に分かれます、早稲田通りは左の靖国神社に沿って直進（写真下右）して飯田橋駅方面へ進みます。



**[牛込見附跡]** 千代田区富士見二丁目 最寄駅 JR 飯田橋駅

写真下左の超高層ビルの前方に牛込見附跡（写真下右）があります。江戸城外郭門の一つである「牛込見附」の残された一部です。



牛込見附は江戸時代 田安門を起点とする「上州道」への出口といった交通の拠点でした。右側はJR中央線飯田橋駅で、通称「神楽坂通り」を下ります。

## [神楽坂下交差点] 新宿区神楽坂一丁目

最寄駅 東京メトロ有楽町線 飯田橋駅



神楽坂下交差点（写真左）で外堀通り（都道405号線）と交差します。左へ行くと東京理科大学・市ヶ谷方面、右へ行くと後楽園・水道橋方面です。交差点が千代田区と新宿区の区境で交差点の下は神田川が流れています。直進して神楽坂通りを上がります。

## [善国寺] 新宿区神楽坂四丁目

最寄駅 東京メトロ有楽町線 飯田橋駅

坂上左側は1595年（文禄4年）馬喰町に創建された日蓮宗の「善国寺」（写真下左）です。火災にあい1793年（寛政5年）現在地に移転してきました。神楽坂の毘沙門様と言われ、毘沙門信仰は虎を重視、狛犬ではなく写真下右の石虎（江戸時代後期の作）です。





## [神楽坂上交差点]

新宿区神楽坂二丁目

最寄駅 都営地下鉄大江戸線 牛込神楽坂駅

少し下りますが、神楽坂上交差点（写真下右）で大久保通りと交差します。  
左へ行くと新宿方面、右へ行くと飯田橋方面で早稲田通りは直進です。



## [神楽坂駅前交差点・牛込天神町交差点]

新宿区神楽坂二丁目

新宿区矢来町

最寄駅 東京メトロ東西線 神楽坂駅



写真上左は神楽坂駅前交差点で右側に東京メトロ東西線の神楽坂駅の出入口があります。分岐の道は左へ行くと牛込北町方面に向かう牛込中央通りです。早稲田通りは直進します。

写真上右はその先の牛込天神町交差点で右へ分岐して山吹町・江戸橋方面に向かう渡部坂がありますが、早稲田通りは左へ道なりに進みます。

## [弁天町交差点] 新宿区弁天町

最寄駅 東京メトロ東西線 神楽坂駅

弁天町交差点（写真下右）で外苑東通り（都道 319 号線）と交差します。  
左へ行くと信濃町方面、右へ行くと早稲田鶴巻町・新目白通り方面です。



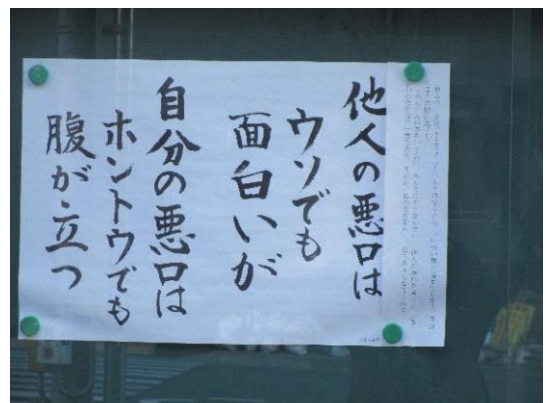
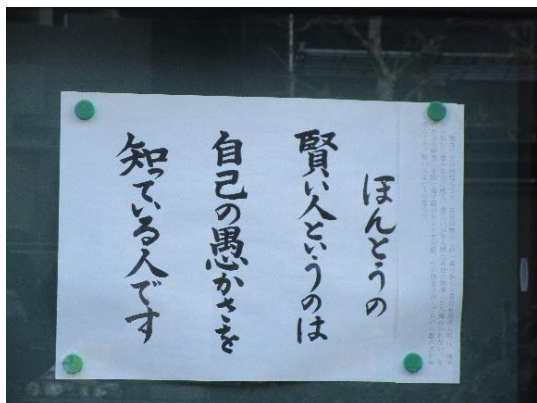
## [龍善寺] 新宿区早稲田町

最寄駅 東京メトロ東西線 早稲田駅



右側に 1638 年（寛永 15 年）千駄ヶ谷に創建された浄土真宗大谷派の寺院「龍善寺」（写真左）があります。1667 年（寛文 7 年）早稲田へ移転、本尊阿弥陀如来像は新宿区の文化財との説明板がありました。新本堂は 2012 年（平成 24 年）に完成とのことです。

寺院前に掲示された言葉をうなずきながら読んだ寅次郎でした。





「早稲田」の地名の由来は諸説ありますが、①神田川に近く、川が入り組んだ地形から水稻の田が多くあり、凶作に備えて普通の田植えより早い時期に植える田があった②小さな川が入り組んだ地形で「わせ」は裂（わざ）くで「わざわい」の「わざ」からきている。田は場所を表す処（と・た）から来ている二つの説が代表的だそうです。

この辺りは文豪 夏目漱石ゆかりの地で左側に夏目漱石の旧居跡に建てられた「漱石山房記念館」入口の案内がありました。寅さん歩 326 東京の博物館めぐりー13 新宿区ー2 をご覧ください。

## [夏目漱石誕生の地] 新宿区喜久井町

最寄駅 東京メトロ東西線 早稲田駅

東京メトロ東西線早稲田駅出入口（写真下左）の左は「夏目坂通り」で、入口左に「夏目漱石誕生の地」の碑（写真下右）があります。夏目漱石（本名金之助）は1867年（慶応3年）1月5日（現在の暦で2月9日）この地に生まれました。夏目家は牛込馬場下町周辺の11ヶ町をまとめる名主で喜久井町の名は夏目家の家紋（井桁に菊）にちなんで付けられ、生家前の夏目坂の名も夏目家からとられたそうです。



## [馬場下町交差点・穴八幡宮] 新宿区西早稲田二丁目

最寄駅 東京メトロ東西線 早稲田駅

馬場下町交差点（写真下左）の右は早稲田大学正門方面、左は諏訪通りで戸山

公園、学習院女子大学方面です。早稲田大学は寅さん歩 193 東京の学食めぐり  
一2、寅さん歩 415 東京の博物館めぐり一52 新宿区一5 をご覧ください。

左の赤い鳥居は「穴八幡宮」で入口には「流鏝馬」像（写真下右）がありました。  
高田馬場の流鏝馬は 1728 年（享保 13 年）徳川八代将軍 吉宗が世嗣の疱瘡平癒祈願のため、穴八幡宮へ奉納した流鏝馬を起源とし、以降将軍家の厄除  
けや若君誕生の祝に高田馬場（現在の西早稲田三丁目付近）で流鏝馬が奉納さ  
れました。穴八幡宮は寅さん歩 331 東京の博物館めぐり一18 新宿区一18 こぼ  
れ話をご覧ください。



穴八幡宮の石段を上がると「隋神門」（写真下左）、奥には「拝殿」（写真下右）  
があります。毎年 12 月の冬至の日から 2 月の節分の方に頒布される「一陽来復  
御守」を寅次郎の実家でも貼っていた記憶があります。江戸中期からの「金銀  
融通」のお守りと知り、この年になって親の苦労が分かった寅次郎でした。



今回はここまでとします。

## [バーチャルウォーク途中経過]

八柳修之さん作成の多くのバーチャルウォークコースがFWAホームページ「YR・四季の道」に掲載されています。寅次郎、現在はバーチャルウォーク 松尾芭蕉とあるく「奥の細道」に挑戦しています。

全行程約600里（約2400km）の長旅なので最後までたどり着けるか心配ですが、目標があれば元気に生きられると強がっています。

2022年4月26日、江戸深川（現在の江東区深川）を出発、2023年5月24日小松（現在の石川県小松市）から68kmの地点（江戸深川から1852km）に到着しました。この後は18km先の山中温泉へ向かいます。

毎日の運動不足対策や事情で例会に参加できない場合はマイお散歩コースを見つけ、その歩いた距離を累計して楽しむバーチャルウォークを始めませんか。FWAのHP「YR・四季の道」の「バーチャルウォークコーナー」は各コースが紹介され、各コースシートが印刷できます。

また「ひとり歩きコーナー」には地図付きの各コースがありますので選んで印刷して利用ください。

平野 寅次郎 拝